



国土交通省 運輸安全委員会事務局

【問合せ先】〒160-0004 東京都新宿区四谷一丁目6番1号 四谷タワー15階

総務課人事係 電話番号:03-5367-5025(内線122)

URL: <https://jtsb.mlit.go.jp/saiyouippansyoku.html>



東京本部(四谷タワー)

○採用区分

国家公務員採用一般職試験(大卒程度)

「行政」…本府省採用 / 「技術」…デジタル・電気・電子・機械・土木・物理、化学

○職員数 (令和6年11月1日現在)

東京本部:事務官 約55名 調査官 約60名 / 地方:事務官 約20名 調査官 約40名

○業務内容

【運輸安全委員会とは】航空、鉄道、船舶の事故等の調査により、事故等の原因究明を徹底して行うことによって、事故等の再発防止を図り、運輸の安全性の向上を目指している独立した機関(国土交通省の外局)です。

【初動調査】事故が発生すると、事故調査官が事故現場へ派遣され、関係者からの口述聴取、物件の検査、資料収集などの事実調査が行われます。

【調査・解析】事故現場で行われた事実調査から、試験研究や、総合的な解析を行います。航空部門を例に挙げると、フライトレコーダーや音声記録の解析などが行われ、事故原因を究明していきます。事故調査官は、これらの結果を踏まえ、事故調査報告書案を作成します。

【委員会・部会】事故調査官が作成した事故調査報告書案は、委員会又は部会において審議します。

部会等で報告書案がまとまると、原因関係者への意見聴取や関係国への意見照会の手続きを行った後、報告書を議決します。

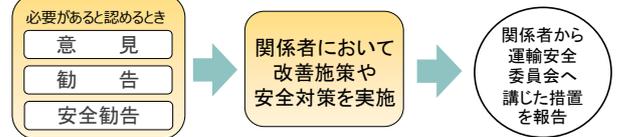
【公表】議決した報告書は、国土交通大臣へ提出するとともに、運輸安全委員会のホームページで公表します。また、必要があると認められるときは、原因関係者へ改善を求めて勧告したり、関係行政機関に施策を提案する意見を述べたりする場合があります。この場合、関係者において改善施策や安全対策を実施し、運輸安全委員会へ講じた措置を報告する流れになります。



フライトレコーダーの解析

音声記録の解析

航海情報記録の解析



○勤務地・転勤・昇進

採用されて数年は、本部(東京)の総務課や参事官に配属され、行政事務の基本を身に付けていただきます。その後は本人の希望も踏まえ、地方事務所(函館、仙台、横浜、神戸、広島、門司、長崎、那覇)への転勤や外部への出向の可能性があります。技術系に加え、行政職採用の職員も本人の希望に応じ、知識・経験を習得いただいた上で、事故調査官に登用していきます。係員・係長(調査官補含む)、専門官・課長補佐(調査官含む)等の各ステップにおいて、研修や人事交流を経て、管理(総務・会計・人事給与)、事故調査(調査官・解析・分析)、企画(企画・広報・国際渉外)など、多種多様な分野で活躍していただけます。

○先輩からのメッセージ

・私は機械系技術職として入庁し、事故防止に関する資料や情報の収集、分析に関する業務に携わっています。

業務を通じて事故調査官の方々の見識の深さに触れ、調査の仕事に憧れを持ち、日々の業務に臨んでいます。

(一般職大卒/機械/R6年採用/総務課/男性)

・上司に相談がやすく、新しいオフィスで見晴らしが良く働きやすい職場です。日々の業務や多様な研修を通じて成長できます。事故の被害から国民を守ることにやりがいを感じ、充実して業務を行っています。

(一般職大卒/行政/R5年採用/参事官付/女性)